

# 網走港湾事務所におけるSDGsの達成に資する取組について

網走港湾事務所では、以下の取組をはじめとする各種取組を通じてSDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献するとともに、網走港の港湾整備と港湾振興活動を通じ、地域の一層の発展を図って参ります。



## 日本の持続的な 食料生産を支える

網走港では、小麦移出に対応した「小麦集出荷施設」が平成26年から稼働したことで、より効率的な荷役が実現し、小麦の取扱量が増加しています。また、背後圏の製糖工場で使用される燃料用石炭の輸入拠点となっており、周辺地域の産業を支えています。現在は、新港地区の静穏度向上による安定的な荷役機能の確保を目的に、防波堤整備を行っています。



小麦の集出荷施設と荷役状況



防波堤の延伸



## みなとを核とした魅力あるまちづくり

みなとオアシス網走では、流水観光砕氷船の発着場所ともなる「みなと観光交流センター」や、周辺に整備される親水施設等を活かした交流拠点づくりを推進するとともに隣接する中心市街地と連携した地域活性化目指していきます。網走港湾事務所では、みなとオアシス網走と協力しながら、みなとを核としたまちづくりにも貢献していきます。



みなと観光交流センター「流水街道網走」



流水観光砕氷船「おーら」



## みなとに対する学習機会の提供

網走港湾事務所では、「みなと」について関心を持ってもらい、その役割を理解していただくために、小学校の児童を対象に「みなと見学会」を開催しています。見学会では、港湾業務艇「はまなす」に乗って、海の上から「網走港」を見学する取り組みを行っています。



【目標】2022年度2回→2023年度2回 ※みなと見学会＋出前講座